Ⅲ 調査結果

1 就学前児童保護者

(1) お住まいの地域について

問1 お住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。
※封筒の宛名ラベルの右下に印字されている数字に○をつけてください。

「志津北部圏域」の割合が30.3%と最も高く、
次いで「佐倉圏域」の割合が24.9%、「根郷・和
田・弥富圏域」の割合が15.9%となっています。

回答者数 = 201

(2) お子さまとご家族の状況について

問2 宛名のお子さまの令和6年4月1日時点の年齢をお答えください
(口内に数字でご記入ください)。

「5歳」の割合が20.9%と最も高く、次いで「3歳」の割合が16.9%、「4歳」の割合が15.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1歳」「4歳」の割合が増加しています。一方、「0歳」の割合が減少しています。

問3 宛名のお子さまと同居しているご家族の方はどなたですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※「9. 単身赴任」の場合は（ ）内に続柄を入れてください。

「母親」の割合が 99.5%と最も高く、次いで「父親」の割合が 93.0%、「兄」の割合が 33.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

※前回調査では、「単身赴任」、「その他」の選択肢はありませんでした。

【単身赴任の続柄】

- ・父・父親（5件）

【その他の意見】

- ・叔父、曾祖母（1件）
- ・伯母（1件）
- ・里親として父親と母親（1件）
- ・曾祖母（1件）
- ・曾祖母、曾祖父、叔父、叔母（1件）

姉の人数

「1人」の割合が92.4%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「1人」の割合が増加しています。一方、「2人」の割合が減少しています。

兄の人数

「1人」の割合が73.5%と最も高く、次いで「2人」の割合が20.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2人」の割合が増加しています。一方、「1人」の割合が減少しています。

妹の人数

「1人」の割合が100.0%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「1人」の割合が増加しています。一方、「2人」の割合が減少しています。

弟の人数

「1人」の割合が88.9%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「2人」の割合が増加しています。

(3) お子さまの保護者の働き方について

問4 問3で「1. 母親」「2. 父親」「9. 単身赴任（母親・父親）」に○をつけた方にかがいます。
宛名のお子さまの母親・父親の現在の働き方（自営業、家族従事者含む）をかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親

「フルタイムで働いており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が34.0%と最も高く、次いで「以前は働いていたが、現在は働いていない」の割合が28.0%、「パート・アルバイト等で働いており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が23.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイムで働いており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。一方、「以前は働いていたが、現在は働いていない」の割合が減少しています。

フルタイムで働いており、産休・育休・介護休業中ではない
フルタイムで働いているが、産休・育休・介護休業中である
パート・アルバイト等で働いており、産休・育休・介護休業中ではない
パート・アルバイト等で働いているが、産休・育休・介護休業中である
以前は働いていたが、現在は働いていない
これまで働いたことがない
無回答

【年齢別（母親）】

年齢別にみると、0歳で「フルタイムで働いているが、産休・育休・介護休業中である」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	介護休業中ではない	フルタイムで働いており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイムで働いているが、産休・育休・介護休業中である	フルタイムで働いているが、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で働いており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で働いているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で働いており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で働いているが、産休・育休・介護休業中である	以前は働いていたが、現在は働いていない	これまで働いたことがない	無回答
全体	200 100.0	68 34.0	21 10.5	46 23.0	5 2.5	56 28.0	3 1.5	1 0.5				
0歳	26 100.0	3 11.5	11 42.3	2 7.7	2 7.7	7 26.9	1 3.8	-				
1歳	30 100.0	15 50.0	2 6.7	1 3.3	2 6.7	10 33.3	-	-				
2歳	30 100.0	11 36.7	3 10.0	6 20.0	-	9 30.0	1 3.3	-				
3歳	34 100.0	12 35.3	2 5.9	8 23.5	-	11 32.4	-	1 2.9				
4歳	32 100.0	7 21.9	2 6.3	11 34.4	1 3.1	11 34.4	-	-				
5歳	42 100.0	17 40.5	1 2.4	15 35.7	-	8 19.0	1 2.4	-				

父親

「フルタイムで働いており、育休・介護休業中ではない」の割合が97.4%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

フルタイムで働いており、育休・介護休業中ではない

フルタイムで働いているが、育休・介護休業中である

パート・アルバイト等で働いており、育休・介護休業中ではない

パート・アルバイト等で働いているが、育休・介護休業中である

以前は働いていたが、現在は働いていない

これまで働いたことがない

無回答

問5 世帯の年収はいくらですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「360万円以上720万円未満」の割合が50.2%と最も高く、次いで「720万円以上」の割合が39.8%、「360万円未満」の割合が10.0%となっています。

回答者数 = 201

360万円未満

360万円以上720万円未満

720万円以上

無回答

(4) こどもの育ちをめぐる環境について

問6 宛名のお子さまの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「いる／ある」の割合が93.0%、「いない／ない」の割合が7.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

問7 問6で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。
 お子さまの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談したり、頼れる相手は誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族」の割合が 80.7%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が 73.3%、「保育士」の割合が 31.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「近所の人」の割合が減少しています。

※前回調査では、「市こども家庭課・子育て世代包括支援センター (子育て総合相談窓口)」の選択肢は「子育て世代包括支援センター (子育て総合相談窓口)」となっていました。

※前回調査では、「SNS 等でつながっている人」の選択肢はありませんでした。

【その他の意見】

- ・子育てコンシェルジュ (1件)
- ・職場 (1件)
- ・配偶者 (1件)

【居住地区別】

居住地区別にみると、根郷・和田・弥富圏域で「かかりつけの医師」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	子育て支援施設（子育て支援センター、児童センター等）	保健所・健康管理センター・保健センター	保育士	幼稚園教諭
全 体	187 100.0	151 80.7	137 73.3	26 13.9	36 19.3	14 7.5	59 31.6	38 20.3
佐倉圏域	50 100.0	43 86.0	34 68.0	3 6.0	13 26.0	2 4.0	14 28.0	11 22.0
臼井・千代田圏域	27 100.0	24 88.9	19 70.4	2 7.4	7 25.9	3 11.1	12 44.4	6 22.2
志津北部圏域	56 100.0	38 67.9	43 76.8	14 25.0	6 10.7	5 8.9	18 32.1	10 17.9
志津南部圏域	24 100.0	22 91.7	17 70.8	3 12.5	5 20.8	3 12.5	4 16.7	5 20.8
根郷・和田・弥富圏域	30 100.0	24 80.0	24 80.0	4 13.3	5 16.7	1 3.3	11 36.7	6 20.0

区分	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	自治体の子育て関連担当	民間の子育てグループ等	市子ども家庭課・子育て世代包括支援センター（子育て総合相談窓口）	SSS等でつながっている人	その他	無回答
全 体	- -	24 12.8	1 0.5	- -	4 2.1	12 6.4	4 2.1	- -
佐倉圏域	- -	4 8.0	- -	- -	1 2.0	4 8.0	2 4.0	- -
臼井・千代田圏域	- -	1 3.7	- -	- -	- -	- -	1 3.7	- -
志津北部圏域	- -	8 14.3	- -	- -	2 3.6	6 10.7	1 1.8	- -
志津南部圏域	- -	3 12.5	1 4.2	- -	1 4.2	- -	- -	- -
根郷・和田・弥富圏域	- -	8 26.7	- -	- -	- -	2 6.7	- -	- -

【年齢別】

年齢別にみると、2歳で「子育て支援施設（子育て支援センター、児童センター等）」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	子育て支援施設（子育て支援センター、児童センター等）	保健所・健康管理センター・保健センター	保育士	幼稚園教諭
全体	187 100.0	151 80.7	137 73.3	26 13.9	36 19.3	14 7.5	59 31.6	38 20.3
0歳	23 100.0	21 91.3	18 78.3	3 13.0	6 26.1	1 4.3	4 17.4	- -
1歳	29 100.0	22 75.9	19 65.5	1 3.4	9 31.0	3 10.3	9 31.0	2 6.9
2歳	30 100.0	26 86.7	19 63.3	3 10.0	11 36.7	1 3.3	13 43.3	6 20.0
3歳	29 100.0	25 86.2	23 79.3	2 6.9	3 10.3	2 6.9	10 34.5	5 17.2
4歳	30 100.0	23 76.7	24 80.0	4 13.3	5 16.7	2 6.7	7 23.3	11 36.7
5歳	41 100.0	31 75.6	31 75.6	11 26.8	2 4.9	4 9.8	14 34.1	13 31.7

区分	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	自治体の子育て関連担当	民間の子育てグループ等	市子ども家庭課・子育て世代包括支援センター（子育て総合相談窓口）	SNS等でつながっている人	その他	無回答
全体	- -	24 12.8	1 0.5	- -	4 2.1	12 6.4	4 2.1	- -
0歳	- -	2 8.7	- -	- -	- -	3 13.0	- -	- -
1歳	- -	4 13.8	- -	- -	1 3.4	4 13.8	1 3.4	- -
2歳	- -	5 16.7	- -	- -	2 6.7	1 3.3	1 3.3	- -
3歳	- -	3 10.3	- -	- -	- -	- -	- -	- -
4歳	- -	3 10.0	1 3.3	- -	- -	2 6.7	- -	- -
5歳	- -	7 17.1	- -	- -	1 2.4	2 4.9	1 2.4	- -

【世帯構成別】

世帯構成別にみると、大きな差はみられません。

単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	子育て支援施設(子育て支援センター、児童センター等)	保健所・健康管理センター・保健センター	保育士	幼稚園教諭
全 体	187 100.0	151 80.7	137 73.3	26 13.9	36 19.3	14 7.5	59 31.6	38 20.3
ふたり親世帯	173 100.0	140 80.9	126 72.8	23 13.3	33 19.1	14 8.1	54 31.2	37 21.4
ひとり親世帯	13 100.0	10 76.9	10 76.9	2 15.4	3 23.1	- -	4 30.8	1 7.7
その他(不明等)	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	- -	- -	1 100.0	- -

区分	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	当自治体の子育て関連担当	等民間の子育てグループ	市子ども家庭課・子育て世代包括支援センター(子育て総合相談窓口)	人等などでつながっている	その他	無回答
全 体	- -	24 12.8	1 0.5	- -	4 2.1	12 6.4	4 2.1	- -
ふたり親世帯	- -	22 12.7	1 0.6	- -	2 1.2	10 5.8	3 1.7	- -
ひとり親世帯	- -	2 15.4	- -	- -	1 7.7	2 15.4	- -	- -
その他(不明等)	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -	1 100.0	- -

【現在の家庭類型別】

現在の家庭類型別にみると、タイプBフル×フルで「保育士」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	子育て支援施設(子育て支援センター、児童センター等)	保健所・健康管理センター・保健センター	保育士	幼稚園教諭
全 体	187 100.0	151 80.7	137 73.3	26 13.9	36 19.3	14 7.5	59 31.6	38 20.3
タイプAひとり親	13 100.0	10 76.9	10 76.9	2 15.4	3 23.1	- -	4 30.8	1 7.7
タイプBフル×フル	74 100.0	58 78.4	54 73.0	10 13.5	14 18.9	6 8.1	37 50.0	9 12.2
タイプCフル×パート	43 100.0	33 76.7	28 65.1	8 18.6	8 18.6	3 7.0	12 27.9	9 20.9
タイプD専業主婦(夫)	54 100.0	47 87.0	42 77.8	5 9.3	11 20.4	5 9.3	3 5.6	19 35.2
タイプEパート×パート	1 100.0	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	1 100.0	- -
タイプF無業×無業	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

区分	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	当自治体の子育て関連担当	等民間の子育てグループ	市子ども家庭課・子育て世代包括支援センター(子育て総合相談窓口)	人SNS等でつながっている	その他	無回答
全 体	- -	24 12.8	1 0.5	- -	4 2.1	12 6.4	4 2.1	- -
タイプAひとり親	- -	2 15.4	- -	- -	1 7.7	2 15.4	- -	- -
タイプBフル×フル	- -	11 14.9	- -	- -	1 1.4	7 9.5	2 2.7	- -
タイプCフル×パート	- -	5 11.6	1 2.3	- -	1 2.3	1 2.3	- -	- -
タイプD専業主婦(夫)	- -	6 11.1	- -	- -	- -	2 3.7	1 1.9	- -
タイプEパート×パート	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
タイプF無業×無業	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

問8 問6で「2. いない／ない」に○をつけた方にうかがいます。
 どのような人や場所なら相談したいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「無料で相談できる」の割合が50.0%と最も高く、次いで「曜日・時間帯を気にせず相談できる」、「相手と同じ悩みを持っている又は持っていたことがある」、「相談できる場所が自宅から近い」の割合が35.7%となっています。

回答者数 = 14

【その他の意見】

- ・ コミュニティーセンター等の子育て中のお母さん、お父さんと話せる機会があると良い。（1件）
- ・ 相談してもただきいてもらえるだけでは解決できないので、話しても、相談しても、くるしいだけ。かわらなかった。（1件）

問9 子育て（教育を含む）において、現在、何か悩みや不安をお持ちですか。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「特にない」の割合が28.4%と最も高く、次いで「仕事や自分のやりたいことが十分できないこと」の割合が23.4%、「病気や発育・発達に関すること」の割合が22.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「病気や発育・発達に関すること」「仕事や自分のやりたいことが十分できないこと」の割合が増加しています。

※前回調査では、「特にない」の選択肢はありませんでした。

【その他の主な意見】

- ・イヤイヤ期に入ってその場その場の対応に追われる事。(1件)
- ・どうしたらこの子育てのなやみ、苦しみ、からのがれられるのか、ねむれない。(1件)
- ・過疎地、限界集落。スクールバスが無理なら早く廃校にしてほしい。(1件)
- ・近くの公立幼稚園が閉園し、現在通っている幼稚園が遠くて通園が大変。(1件)

- ・休みたい。有給はたまに取れるが、休みの時は保育園や学童は使えない、と言われており、結局休めない。うまくやればいいと思うが嘘をつくのも負担。なぜたまの有給で子どもを預けてはいけないのか。誰にも邪魔されずに昼寝したい。(1件)
- ・友人は独身や子どものいない人も多く、子育てについては色々話せない。(1件)
- ・養育費は貰っているが、父親が居ないこと。(1件)
- ・教育関連の資金。(1件)
- ・保育園入園希望時期に入園が困難であること。(1件)
- ・人と関わりたくない。(1件)

他1件

【年齢別】

年齢別にみると、4歳で「こどもの教育に関すること」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	病気や発育・発達に関すること	食事や栄養に関すること	育児の方法がよくわからないこと	こどもの接し方に自信が持てないこと	こどもの時間を十分にとれないこと	話し相手や相談相手がいないこと	仕事や自分のやりたいことが十分できないこと	こどもの教育に関すること	友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること	登園拒否などの問題について
全体	201 100.0	46 22.9	42 20.9	7 3.5	21 10.4	45 22.4	9 4.5	47 23.4	45 22.4	13 6.5	5 2.5
0歳	26 100.0	7 26.9	7 26.9	3 11.5	4 15.4	4 15.4	3 11.5	8 30.8	8 30.8	2 7.7	- -
1歳	30 100.0	10 33.3	8 26.7	1 3.3	5 16.7	8 26.7	2 6.7	9 30.0	3 10.0	- -	1 3.3
2歳	31 100.0	9 29.0	7 22.6	3 9.7	5 16.1	7 22.6	1 3.2	9 29.0	4 12.9	3 9.7	1 3.2
3歳	34 100.0	5 14.7	4 11.8	- -	3 8.8	7 20.6	1 2.9	8 23.5	10 29.4	- -	1 2.9
4歳	32 100.0	8 25.0	10 31.3	- -	2 6.3	4 12.5	- -	7 21.9	11 34.4	4 12.5	1 3.1
5歳	42 100.0	6 14.3	5 11.9	- -	1 2.4	14 33.3	1 2.4	6 14.3	7 16.7	3 7.1	- -

区分	子育てに関する配偶者・パートナーの協力が少ないこと	子育てに関する配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと	子育てに関する配偶者・パートナー・職場などまわりの見目が気になること	自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見目が気になること	配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	こどもを叱りすぎているような気がする	こどもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと	子育てのストレスがたまり、こどもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからないこと	その他	特にな	無回答
全体	10 5.0	8 4.0	5 2.5	14 7.0	40 19.9	1 0.5	6 3.0	11 5.5	57 28.4	2 1.0		
0歳	1 3.8	1 3.8	2 7.7	2 7.7	4 15.4	- -	- -	1 3.8	6 23.1	- -		
1歳	2 6.7	- -	2 6.7	3 10.0	3 10.0	1 3.3	3 10.0	1 3.3	8 26.7	- -		
2歳	2 6.5	2 6.5	- -	4 12.9	7 22.6	- -	1 3.2	3 9.7	8 25.8	- -		
3歳	- -	2 5.9	- -	1 2.9	8 23.5	- -	1 2.9	1 2.9	10 29.4	1 2.9		
4歳	- -	- -	- -	1 3.1	8 25.0	- -	1 3.1	2 6.3	7 21.9	- -		
5歳	5 11.9	2 4.8	1 2.4	3 7.1	8 19.0	- -	- -	2 4.8	15 35.7	1 2.4		

【世帯構成別】

世帯構成別にみると、ふたり親世帯で「こどもとの時間を十分にとれないこと」の割合が高くなっています。また、ひとり親世帯で「病気や発育・発達に関すること」、「こどもとの接し方に自信が持てないこと」、「仕事や自分のやりたいことが十分できないこと」、「こどもを叱りすぎているような気がする」との割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	病気や発育・発達に関すること	食事や栄養に関すること	育児の方法がよくわからないこと	こどもとの接し方に自信が持てないこと	こどもとの時間を十分にとれないこと	話し相手や相談相手がいないこと	仕事や自分のやりたいことが十分できないこと	こどもの教育に関すること	友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること	登園拒否などの問題について
全 体	201 100.0	46 22.9	42 20.9	7 3.5	21 10.4	45 22.4	9 4.5	47 23.4	45 22.4	13 6.5	5 2.5
ふたり親世帯	187 100.0	41 21.9	40 21.4	7 3.7	18 9.6	43 23.0	9 4.8	40 21.4	42 22.5	13 7.0	5 2.7
ひとり親世帯	13 100.0	5 38.5	2 15.4	-	3 23.1	2 15.4	-	7 53.8	3 23.1	-	-
その他(不明等)	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区分	子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと	子育てに関しての配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと	子育てに関しての配偶者・パートナーの育児目が見えなくなること	自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見る目が気になること	配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	こどもを叱りすぎているような気がする	子育てのストレスがたまり、こどもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからないこと	その他	特にな	無回答
全 体	10 5.0	8 4.0	5 2.5	14 7.0	40 19.9	1 0.5	6 3.0	11 5.5	57 28.4	2 1.0	
ふたり親世帯	9 4.8	8 4.3	5 2.7	14 7.5	35 18.7	1 0.5	4 2.1	9 4.8	54 28.9	2 1.1	
ひとり親世帯	1 7.7	-	-	-	5 38.5	-	2 15.4	2 15.4	2 15.4	-	
その他(不明等)	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	

【世帯収入別】

世帯収入別にみると、360万円未満で「病気や発育・発達に関すること」、「友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること」の割合が高くなっています。また、720万円以上で「こどもの教育に関すること」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	病気や発育・発達に関すること	食事や栄養に関すること	育児の方法がよくわからないこと	こどもの接し方に自信が持てないこと	こどもの時間を十分にとれないこと	話し相手や相談相手がいないこと	仕事や自分のやりたいことができないこと	こどもの教育に関すること	友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること	登園拒否などの問題について
全 体	201 100.0	46 22.9	42 20.9	7 3.5	21 10.4	45 22.4	9 4.5	47 23.4	45 22.4	13 6.5	5 2.5
360万円未満	20 100.0	7 35.0	3 15.0	1 5.0	2 10.0	2 10.0	-	5 25.0	4 20.0	3 15.0	-
360万円以上 720万円未満	101 100.0	20 19.8	21 20.8	4 4.0	11 10.9	22 21.8	4 4.0	27 26.7	17 16.8	5 5.0	3 3.0
720万円以上	80 100.0	19 23.8	18 22.5	2 2.5	8 10.0	21 26.3	5 6.3	15 18.8	24 30.0	5 6.3	2 2.5

区分	子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと	子育てに関しての配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと	子育てに関しての配偶者・パートナーの目が見えなくなること	自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見る目が気になること	配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	こどもを叱りすぎているような気がする	子育てのストレスがたまり、こどもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからないこと	その他	特にな	無回答
全 体	10 5.0	8 4.0	5 2.5	14 7.0	40 19.9	1 0.5	6 3.0	11 5.5	57 28.4	2 1.0	
360万円未満	2 10.0	1 5.0	-	1 5.0	2 10.0	-	-	1 5.0	7 35.0	1 5.0	
360万円以上 720万円未満	4 4.0	4 4.0	4 4.0	6 5.9	22 21.8	1 1.0	4 4.0	4 4.0	30 29.7	-	
720万円以上	4 5.0	3 3.8	1 1.3	7 8.8	16 20.0	-	2 2.5	6 7.5	20 25.0	1 1.3	

【現在の家庭類型別】

現在の家庭類型別にみると、タイプAひとり親で「仕事や自分のやりたいことが十分できないこと」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	病気や発育・発達に関すること	食事や栄養に関すること	育児の方法がよくわからないこと	こどもの接し方に自信が持てないこと	こどもの時間を十分にとれないこと	話し相手や相談相手がいないこと	仕事や自分のやりたいことが十分できないこと	こどもの教育に関すること	友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること	登園拒否などの問題について
全体	201 100.0	46 22.9	42 20.9	7 3.5	21 10.4	45 22.4	9 4.5	47 23.4	45 22.4	13 6.5	5 2.5
タイプAひとり親	13 100.0	5 38.5	2 15.4	-	3 23.1	2 15.4	-	7 53.8	3 23.1	-	-
タイプBフル×フル	81 100.0	19 23.5	17 21.0	3 3.7	10 12.3	28 34.6	5 6.2	23 28.4	22 27.2	7 8.6	2 2.5
タイプCフル×パート	46 100.0	7 15.2	9 19.6	2 4.3	4 8.7	11 23.9	2 4.3	8 17.4	12 26.1	3 6.5	-
タイプD専業主婦(夫)	57 100.0	14 24.6	14 24.6	2 3.5	4 7.0	3 5.3	2 3.5	9 15.8	7 12.3	3 5.3	3 5.3
タイプEパート×パート	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-
タイプF無業×無業	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区分	子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと	子育てに関しての配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと	自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見る目が気になること	自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの意見を手伝ってくれる人がいないこと	配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	こどもを叱りすぎているような気がする	子育てのストレスがたまり、こどもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまつたこと	子育てのストレスがたまり、こどもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまつたこと	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからないこと	その他	特にな	無回答
全体	10 5.0	8 4.0	5 2.5	14 7.0	40 19.9	1 0.5	6 3.0	11 5.5	57 28.4	2 1.0		
タイプAひとり親	1 7.7	-	-	-	5 38.5	-	2 15.4	2 15.4	2 15.4	-		
タイプBフル×フル	2 2.5	1 1.2	2 2.5	6 7.4	17 21.0	-	2 2.5	7 8.6	15 18.5	1 1.2		
タイプCフル×パート	2 4.3	6 13.0	1 2.2	3 6.5	12 26.1	-	-	1 2.2	15 32.6	-		
タイプD専業主婦(夫)	5 8.8	1 1.8	2 3.5	5 8.8	6 10.5	1 1.8	2 3.5	1 1.8	23 40.4	1 1.8		
タイプEパート×パート	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
タイプF無業×無業	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-		

問10 問9で「1. 病気や発育・発達に関すること」に○をつけた方にうかがいます。
 子育ての悩みや、不安だと思うことは何ですか。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「行動面（落ち着きがない、かんしゃく等）」の割合が47.8%と最も高く、次いで「生活習慣（食生活やトイレトレーニング）」の割合が39.1%、「コミュニケーションやことばの発達」、「こどもの成長発達を促すための関わり方」の割合が34.8%となっています。

回答者数 = 46

生活習慣（食生活やトイレトレーニング）
 コミュニケーションやことばの発達
 行動面（落ち着きがない、かんしゃく等）
 就園・就学
 こどもの成長発達を促すための関わり方
 成長（身長や体重の伸び）
 発達障害に関すること
 病気に関すること
 その他
 無回答

【その他の意見】

- ・まだ5ヶ月だが、これから先発達障害等だったらどうしようという不安。（1件）
- ・保育園に通い始めて咳や発熱が続くので心配。仕事に行けない日もあるのが悩み。（1件）

問11 問10で○をつけた方にうかがいます。

市内には専門の相談機関がありますが、ご存じですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「知っている」の割合が65.2%、「知らない」の割合が34.8%となっています。

回答者数 = 46

知っている
 知らない
 無回答

問 12 すべての方にうかがいます。今後、あれば利用したいと思う事業は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、事業の利用には一定の利用者負担が発生します。

「一時的な預かり・託児」の割合が43.3%と最も高く、次いで「送迎保育ステーション」の割合が33.8%、「企業等が従業員のために事業所内で実施する託児」の割合が24.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「一時的な預かり・託児」「企業等が従業員のために事業所内で実施する託児」の割合が減少しています。

※前回調査では、「送迎保育ステーション」の選択肢は「送迎保育ステーション（送迎拠点から、定員に余裕のある保育施設へお子さんをバスで送迎するもの）」となっていました。

※前回調査では、「一時的な預かり・託児」の選択肢は「単発で気軽に利用できる託児」となっていました。

【その他の主な意見】

- ・地域での関わりが非常に浅い、薄いので、年一回でも各地域の同世代が集まって行える行事（広域避難場所説明などでも可）（2件）
- ・親が休みの日に休息を取るため保育園に預けるのを認めて欲しい。（2件）
- ・臼井地区に雨でも無料でアクティブに遊べる施設がほしい！（2件）
- ・土日祝日に数時間でもいいので子どもを預かって欲しい。（2件）
- ・それぞれ民間サービスを充実させるべきであり、すでに保育所等で公金支出は大きいのだから拡大すべきではない。（1件）
- ・習い事への送迎。姉兄の習い事や個人面談、授業参観（6時間目に行われることが多い為）送迎との兼ね合いから、送迎や預かりが小学生に上がっても利用できると有り難い。（1件）
- ・子供を見守りながら年代別に遊べるフリースペースやそれを完備しているカフェ。（1件）
- ・職場復帰の為の一時預かり（1件）
- ・スクールバス（1件）
- ・病児預りの施設（1件）
- 他1件

【年齢別】

年齢別にみると、1歳で「一時的な預かり・託児」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	送迎保育ステーション	一時的な預かり・託児	企業等が従業員のために事業所内で実施する託児	その他	無回答
全体	201 100.0	68 33.8	87 43.3	50 24.9	18 9.0	44 21.9
0歳	26 100.0	14 53.8	14 53.8	5 19.2	- -	1 3.8
1歳	30 100.0	10 33.3	21 70.0	12 40.0	4 13.3	3 10.0
2歳	31 100.0	11 35.5	11 35.5	6 19.4	3 9.7	8 25.8
3歳	34 100.0	11 32.4	16 47.1	8 23.5	3 8.8	7 20.6
4歳	32 100.0	8 25.0	8 25.0	10 31.3	4 12.5	10 31.3
5歳	42 100.0	13 31.0	15 35.7	7 16.7	3 7.1	13 31.0

【現在の家庭類型別】

現在の家庭類型別にみると、タイプAひとり親で「送迎保育ステーション」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	送迎保育ステーション	一時的な預かり・託児	企業等が従業員のために事業所内で実施する託児	その他	無回答
全体	201 100.0	68 33.8	87 43.3	50 24.9	18 9.0	44 21.9
タイプAひとり親	13 100.0	7 53.8	6 46.2	3 23.1	- -	1 7.7
タイプBフル×フル	81 100.0	32 39.5	28 34.6	20 24.7	9 11.1	19 23.5
タイプCフル×パート	46 100.0	13 28.3	20 43.5	13 28.3	4 8.7	8 17.4
タイプD専業主婦（夫）	57 100.0	13 22.8	33 57.9	12 21.1	5 8.8	15 26.3
タイプEパート×パート	1 100.0	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -
タイプF無業×無業	1 100.0	- -	- -	- -	- -	1 100.0

問13 問12で「2. 一時的な預かり・託児」に○をつけた方にうかがいます。
 次の事業のうち、一番利用したいと思う事業は何ですか。当てはまる番号1つに○
 をつけてください。なお、事業の利用には一定の利用者負担が発生します。

「一時預かり事業」の割合が47.1%、「こども
 誰でも通園制度」の割合が34.5%となっていま
 す。

【その他の意見】

- ・登録しておけば、私用で利用でき、前日申込みでも数時間から半日ぐらい預けられる施設。(3件)
- ・土曜日や日曜日の2-3時間の預かりなど。(3件)
- ・小学生対象のサービス(2件)
- ・双子の2歳児を育てています。託児の一時利用は2枠予約を取ることが難しいため、双子の一時利用をいつでも受け入れてくれる、断らない制度がほしい。(1件)
- ・単純に、保育園や学童を、有給の際も利用できるようにしてほしい。(頻度の制約があってもよいので)(1件)
- ・仕事をする上で保育所が見つからない場合の託児所を利用したい。(1件)
- ・夜間及び泊まりでみてもらえるところ。(1件)
- ・小学生の学童(1件)
- ・病児保育(1件)

(5) 土日、夜間の教育・保育事業（幼稚園・保育園など）の利用状況について

問 14 宛名のお子さまについて、土曜日・日曜日・祝日・夜間に、定期的な教育・保育の事業の利用希望として、当てはまる番号1つに○をつけてください（一時的な利用は除きます）。

「2. ほぼ毎週利用したい」「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた場合は、利用したい時間帯を、(例) 09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

(1) 土曜日

「利用する必要はない」の割合が72.6%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が17.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。一方、「月に1～2回は利用したい」の割合が減少しています。

【居住地区別（(1) 土曜日）】

居住地区別にみると、臼井・千代田圏域で「利用する必要はない」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	利用する必要はない	ほぼ毎週利用した	月に1～2回は利用したい	無回答
全体	201	146	18	36	1
	100.0	72.6	9.0	17.9	0.5
佐倉圏域	50	40	2	8	-
	100.0	80.0	4.0	16.0	-
臼井・千代田圏域	31	26	-	5	-
	100.0	83.9	-	16.1	-
志津北部圏域	61	41	6	13	1
	100.0	67.2	9.8	21.3	1.6
志津南部圏域	27	17	4	6	-
	100.0	63.0	14.8	22.2	-
根郷・和田・弥富圏域	32	22	6	4	-
	100.0	68.8	18.8	12.5	-

利用したい時間帯

開始時間

「8時台」の割合が42.6%と最も高く、次いで「9時台」の割合が27.8%、「7時台」の割合が13.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「8時台」の割合が増加しています。一方、「7時台」「9時台」の割合が減少しています。

終了時間

「17時台」「18時台」の割合が27.8%と最も高く、次いで「14時より前」の割合が13.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「14時より前」の割合が増加しています。

(2) 日曜日・祝日

「利用する必要はない」の割合が82.1%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が13.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。

利用したい時間帯

開始時間

「8時台」の割合が40.0%と最も高く、次いで「9時台」の割合が31.4%、「10時台」の割合が11.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「8時台」の割合が増加しています。一方、「7時台」の割合が減少しています。

終了時間

「17時台」の割合が31.4%と最も高く、次いで「18時台」の割合が28.6%、「14時より前」の割合が17.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「14時より前」の割合が増加しています。一方、「19時台」の割合が減少しています。

(3) 夜間

「利用する必要はない」の割合が95.5%と最も高くなっています。

回答者数 = 201

利用する必要はない

ほぼ毎週利用したい

月に1～2回は利用したい

無回答

利用したい時間帯

開始時間

「18時より前」、「18時台」、「20時台」が2件となっています。

回答者数 = 8

18時より前

18時台

19時台

20時台

21時台

22時台

23時以降

無回答

終了時間

「12時以降」が5件となっています。「9時台」、「10時台」が1件となっています。

回答者数 = 8

7時より前

7時台

8時台

9時台

10時台

11時台

12時以降

無回答

問 15 この1年間に、宛名のお子さまが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に行った対処方法として、当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください（数字は一桁に一字）。

「母親が休んだ」の割合が57.7%と最も高く、次いで「父親が休んだ」の割合が35.3%、「同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が25.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「父親が休んだ」の割合が増加しています。一方、「母親が休んだ」、「同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が減少しています。

【その他の意見】

- ・そういった事業をまだ利用していない。(6件)
- ・リモート勤務にし、子供を見つつ、仕事をした。(4件)
- ・産休中・育休中なので母が自宅でみた。(3件)
- ・未就園児なので常に母がいる。(2件)
- ・父親が仕事場に連れて行った。(1件)
- ・まだ休んだことはないが、状況に応じて父母どちらかが休むか、祖母に見てもらおう予定。(1件)
- ・まだ実績がない。おそらく母親が休むことになっていると思っている。(1件)
- ・普段常に、教育、保育事業を利用していないので、解答の仕方がわからないが、子どもの風邪等で病院に行くために、夫に休んでもらったり、祖母に来てもらったりした日数を回答した。(1件)

ア. 父親が休んだ日数

「2日」の割合が 25.4%と最も高く、次いで「5日」の割合が 19.7%、「1日」の割合が 12.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「1日」の割合が減少しています。

イ. 母親が休んだ日数

「10日」の割合が14.7%と最も高く、次いで「3日」の割合が13.8%、「5日」、「16日～20日」の割合が12.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「16日～20日」の割合が増加しています。一方、「2日」、「5日」の割合が減少しています。

ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった日数

「2日」、「3日」、「5日」の割合が15.4%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「7日」の割合が増加しています。

エ. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた日数

「21 日以上」の割合が 14.9%と最も高く、次いで「10 日」の割合が 12.8%、「5 日」の割合が 10.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「21 日以上」の割合が増加しています。一方、「1 日」、「3 日」、「4 日」の割合が減少しています。

オ. 病児・病後児の保育を利用した日数

「11日～15日」が1件となっています。

カ. ベビーシッターを利用した日数

「3日」が1件となっています。

キ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数

有効回答がありませんでした。

ク. その他の日数

「3日」の割合が9.5%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「2日」、「4日」、「7日」の割合が減少しています。

問 16 「病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いますか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。
 なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用者負担が発生し、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が24.4%、「利用したいとは思わない」の割合が74.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用したいとは思わない」の割合が増加しています。一方、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が減少しています。

できれば病児・病後児保育施設等を利用したい日数

「3日」の割合が30.6%と最も高く、次いで「5日」の割合が20.4%、「2日」、「10日」の割合が10.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「3日」の割合が増加しています。一方、「5日」、「11日～15日」の割合が減少しています。

問17 問16で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」の割合が47.3%と最も高く、次いで「こどもが病気の時は親が仕事を休んで対応したほうがよい」の割合が40.7%、「利用料がかかる・高い」の割合が32.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用料がかかる・高い」、「利用方法が分からない・分かりにくい」の割合が増加しています。一方、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」、「こどもが病気の時は親が仕事を休んで対応したほうがよい」の割合が減少しています。

※前回調査では、「地域の事業の利便性がよくない」の選択肢は「地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない」となっていました。

※前回調査では、「利用方法が分からない・分かりにくい」の選択肢は「利用料がわからない」となっていました。

【その他の意見】

- ・手順が多く事前準備も多くハードルが高すぎて使いたい時に使えるようなものではない。空きもないしほとんど無意味。(8件)
- ・病気の時は寄り添って安心させてしっかり休ませてあげたい。こどもが嫌がりそう。(5件)
- ・現在、私(母親)が仕事をしていないため利用する必要性を感じない。(5件)
- ・実親が近くに住んでいる為。調子の悪い時に知らない場所&人は可哀想とも思うので、普段通っている保育園で、病み上がりの子が過ごせる部屋があるなら、一番ありがたい。(2件)
- ・事前に病院で許可書をもらうのが厳しい。何度も病院に連れて行く時間がない。(2件)
- ・むしろ自分で面倒みられるから必要ない。(2件)
- ・他の子から別の病気をもらってしまいそうだから。(2件)
- ・必要な時が今の所はない(家に誰かがほぼ居るので)(2件)
- ・具合の悪い時ぐらいはそばで見てあげたい気持ちもあり、預けたいが葛藤する…それよりも休みやすい社会環境となしてほしい。(1件)
- ・フリーシフト制なので仕事を休んで看病することを気軽にできるため。(1件)

問 18 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、宛名のお子さまを泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、こどもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字）。

「利用したい」の割合が10.0%、「利用する必要はない」の割合が89.6%となっています。

回答者数 = 201

利用したい
利用する必要はない
無回答

【その他の意見】

- ・育児疲れまではいかないがリフレッシュや普段ほぼとれない夫婦での時間づくりでも利用できると良い。（1件）
- ・親族を頼ることができない事情のある急用。（1件）
- ・保護者の通院（入院）（1件）

利用目的

「保護者や家族の育児疲れ・不安」、「保護者や家族の病気」の割合が60.0%と最も高く、次いで「冠婚葬祭」の割合が50.0%となっています。

回答者数 = 20

冠婚葬祭
保護者や家族の育児疲れ・不安
保護者や家族の病気
その他
無回答

合計の泊数

「1泊」の割合が 25.0%と最も高く、次いで「3泊」、「5泊」の割合が 20.0%となっています。

回答者数 = 20

ア. 冠婚葬祭の泊数

「1泊」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「2泊」、「3泊」の割合が 20.0%となっています。

回答者数 = 10

イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安の泊数

「2泊」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「1泊」、「5泊」、「10泊」の割合が 16.7%となっています。

回答者数 = 12

ウ. 保護者や家族の病気の泊数

「1泊」の割合が 41.7%と最も高く、次いで「5泊」の割合が 25.0%、「2泊」の割合が 16.7%となっています。

回答者数 = 12

工. その他の泊数

「1泊」が3件となっています。

回答者数 = 3

問 19 小児初期急病診療所を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「名前も内容も知っている」の割合が79.1%と最も高く、次いで「名前は知っているが内容は知らなかった」の割合が11.4%となっています。

回答者数 = 201

名前も内容も知っている
 名前は知っているが内容は知らなかった
 知らなかった
 無回答

問 20 小児初期急病診療所を利用したことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用したことがある」の割合が62.2%と最も高く、次いで「利用したことはない」の割合が33.3%となっています。

回答者数 = 201

利用したことがある
 利用してみたい
 利用したことはない
 無回答

問21 問20で「1. 利用したことがある」に○をつけた方にうかがいます。
小児初期急病診療所を利用してどうでしたか。(全体に対する満足度) 当てはまる番号1つに○をつけてください。

「まあ満足している」の割合が35.2%と最も高く、次いで「やや満足している」の割合が31.2%、「とても満足している」の割合が17.6%となっています。

回答者数 = 125

とても満足している

まあ満足している

やや満足している

不満

わからない

無回答

問 22 下記の事業や場所で知っているものをお答えください。

①～⑮の事業・場所ごとに、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

『⑤保育園や幼稚園などの園庭開放』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『⑬SNS等を活用した相談事業（親子のためのSNS相談@ちば）』で「いいえ」の割合が高くなっています。

②健康管理センター等が実施する母子向けの相談事業

平成30年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。

⑤保育園や幼稚園などの園庭開放

平成30年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。

⑥児童センター・老幼の館

平成30年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。

⑦市こども家庭課・子育て世代包括支援センター（子育て総合相談窓口）

平成30年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。

⑩佐倉市教育センター（佐倉東小学校内）

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

⑪子育て支援ガイドブック

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。

⑫その他サークルやNPO法人等が提供する「親と子の友達作り」や「親と子が集える場所」

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。

問 23 休日にお子さまのためにやりたいけどやれていないことは何ですか。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「自然などの中で様々な体験をする事」の割合が 61.2%と最も高く、次いで「体を動かす遊びやスポーツ」の割合が 55.7%、「こどもと一緒に家で工作などに取り組む」の割合が 46.3%となっています。

回答者数 = 201

問 24 今後の佐倉市における子育ての環境や支援について、どのようなことを期待しますか。期待する順に上位3つまで○をつけてください。

「子育て家庭への手当での支給や税制優遇措置」の割合が56.7%と最も高く、次いで「道路や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備」の割合が51.7%、「幼稚園・保育園の費用や教育費の負担軽減」の割合が42.3%となっています。

回答者数 = 201

【その他の意見】

- ・給食費無料化、小学3年生以下の第3子の指定の意味がわからない。当てはまる期間短い。（1件）
- ・小児初期急病診療所について検査をしてくれないので、早期治療ができずにただ具合が悪い中、出向くことが億劫で最近では利用していない。インフルエンザなどはタミフルなどを早期に飲むことで症状が大幅に軽減されるので、感染症の検査、投薬はしてほしい。週末など、高熱出しても検査してもらえないので行くだけ無駄と思って、手持ちの解熱剤を使ったりしている。本当に急を要する場合も対応が遅れてしまわないか不安。改善してほしい。（1件）
- ・国の制度が大半なので自治体単位での対応は難しい面もあると思うが、余計な事業は行わず、サービスを受ける者がその対価を負担する健全な状態にしてほしい。（1件）

- ・スクールバス（1件）
- ・PTAの負担軽減（旗振り当番や役員会で貴重な有給を使いたくない）（1件）
- ・歩道が整備されていないところが多いので、子供を連れて自転車や徒歩で出かける際にとっても危険。歩道の整備、ガードレールの設置をお願いしたい。（1件）

【居住地区別】

居住地区別にみると、臼井・千代田圏域で「小児救急医療体制の充実」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	母子保健（妊娠中や乳幼児の健診など）の充実	保育園・学童保育所などの整備	子育て中の親子が気軽に集える場・機会の提供	道路や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備	公共施設や駅、商業施設のバリアフリー化や授乳施設等の環境の整備	子育ての不安や悩みの相談窓口の整備	幼稚園や保育園などの情報や相談窓口の整備	妊娠や出産、子育てに関する学習機会の提供
全体	201 100.0	9 4.5	50 24.9	28 13.9	104 51.7	12 6.0	3 1.5	9 4.5	4 2.0
佐倉圏域	50 100.0	2 4.0	15 30.0	4 8.0	27 54.0	3 6.0	-	2 4.0	1 2.0
臼井・千代田圏域	31 100.0	-	6 19.4	4 12.9	15 48.4	1 3.2	-	3 9.7	1 3.2
志津北部圏域	61 100.0	3 4.9	15 24.6	11 18.0	32 52.5	4 6.6	1 1.6	2 3.3	-
志津南部圏域	27 100.0	2 7.4	7 25.9	3 11.1	16 59.3	3 11.1	1 3.7	1 3.7	-
根郷・和田・弥富圏域	32 100.0	2 6.3	7 21.9	6 18.8	14 43.8	1 3.1	1 3.1	1 3.1	2 6.3

区分	出産費用や育児にかか る医療費の負担軽減	幼稚園・保育園の費用や 教育費の負担軽減	子育て家庭への手当て の支給や税制優遇措置	子育て家庭への住宅の 確保や家賃補助	小児救急医療体制の充 実	その他	特 に な い	無 回 答
全体	67 33.3	85 42.3	114 56.7	26 12.9	39 19.4	7 3.5	1 0.5	1 0.5
佐倉圏域	21 42.0	22 44.0	28 56.0	7 14.0	9 18.0	1 2.0	-	1 2.0
臼井・千代田圏域	10 32.3	13 41.9	17 54.8	3 9.7	10 32.3	-	-	-
志津北部圏域	19 31.1	27 44.3	39 63.9	8 13.1	9 14.8	1 1.6	1 1.6	-
志津南部圏域	9 33.3	8 29.6	12 44.4	3 11.1	5 18.5	3 11.1	-	-
根郷・和田・弥富圏域	8 25.0	15 46.9	18 56.3	5 15.6	6 18.8	2 6.3	-	-

【年齢別】

年齢別にみると、4歳で「道路や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	母子保健（妊娠中や乳幼児の健診など）の充実	保育園・学童保育所などの整備	子育て中の親子が気軽に集える場・機会の提供	道路や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備	公共施設や駅、商業施設のバリアフリー化や授乳施設等の環境の整備	子育ての不安や悩みへの相談窓口の整備	幼稚園や保育園などの情報や相談窓口の整備	妊娠や出産、子育てに関する学習機会の提供
全体	201 100.0	9 4.5	50 24.9	28 13.9	104 51.7	12 6.0	3 1.5	9 4.5	4 2.0
0歳	26 100.0	- -	8 30.8	5 19.2	11 42.3	4 15.4	- -	1 3.8	- -
1歳	30 100.0	1 3.3	9 30.0	6 20.0	13 43.3	2 6.7	1 3.3	4 13.3	- -
2歳	31 100.0	4 12.9	7 22.6	4 12.9	15 48.4	2 6.5	1 3.2	1 3.2	2 6.5
3歳	34 100.0	3 8.8	9 26.5	4 11.8	12 35.3	4 11.8	- -	1 2.9	- -
4歳	32 100.0	- -	5 15.6	6 18.8	23 71.9	- -	- -	1 3.1	2 6.3
5歳	42 100.0	1 2.4	9 21.4	2 4.8	26 61.9	- -	- -	1 2.4	- -

区分	出産費用や育児に負担軽減	幼稚園・保育園の費用の負担軽減	子育て家庭への手当や給付の制	子育て家庭への住宅補助	小児救急医療体制の充実	その他	特になし	無回答
全体	67 33.3	85 42.3	114 56.7	26 12.9	39 19.4	7 3.5	1 0.5	1 0.5
0歳	10 38.5	12 46.2	18 69.2	4 15.4	1 3.8	- -	1 3.8	- -
1歳	12 40.0	11 36.7	16 53.3	2 6.7	7 23.3	2 6.7	- -	- -
2歳	10 32.3	14 45.2	15 48.4	7 22.6	6 19.4	- -	- -	- -
3歳	11 32.4	18 52.9	20 58.8	4 11.8	6 17.6	2 5.9	- -	- -
4歳	12 37.5	13 40.6	17 53.1	3 9.4	6 18.8	- -	- -	1 3.1
5歳	12 28.6	17 40.5	27 64.3	6 14.3	9 21.4	3 7.1	- -	- -

【現在の家庭類型別】

現在の家庭類型別にみると、タイプAひとり親で「道路や公園などこどもが安心して暮らせる環境の整備」の割合が高くなっています。

単位 上段：件、下段：%

区分	回答者数	母子保健(妊娠中や乳幼児の健診など)の充実	保育園・学童保育所などの整備	子育て中の親子が気軽に集える場・機会の提供	道路や公園などこどもが安心して暮らせる環境の整備	公共施設や駅、商業施設のバリアフリー化や授乳施設等の環境の整備	子育ての不安や悩みの相談窓口の整備	幼稚園や保育園などの情報や相談窓口の整備	妊娠や出産、子育てに関する学習機会の提供
全体	201 100.0	9 4.5	50 24.9	28 13.9	104 51.7	12 6.0	3 1.5	9 4.5	4 2.0
タイプAひとり親	13 100.0	1 7.7	3 23.1	1 7.7	9 69.2	-	-	2 15.4	2 15.4
タイプBフル×フル	81 100.0	1 1.2	26 32.1	13 16.0	39 48.1	3 3.7	1 1.2	3 3.7	-
タイプCフル×パート	46 100.0	3 6.5	11 23.9	4 8.7	23 50.0	2 4.3	-	1 2.2	2 4.3
タイプD専業主婦(夫)	57 100.0	4 7.0	10 17.5	10 17.5	31 54.4	7 12.3	2 3.5	2 3.5	-
タイプEパート×パート	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
タイプF無業×無業	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-

区分	出産費用や育児にかか る医療費の負担軽減	幼稚園・保育園の費用や 教育費の負担軽減	子育て家庭への手当 の支給や税制優遇措置	子育て家庭への住宅の 確保や家賃補助	小児救急医療体制の充 実	その他	特 に な い	無 回 答
全体	67 33.3	85 42.3	114 56.7	26 12.9	39 19.4	7 3.5	1 0.5	1 0.5
タイプAひとり親	4 30.8	4 30.8	3 23.1	3 23.1	2 15.4	1 7.7	-	-
タイプBフル×フル	28 34.6	36 44.4	52 64.2	11 13.6	15 18.5	4 4.9	-	-
タイプCフル×パート	14 30.4	20 43.5	30 65.2	5 10.9	11 23.9	-	-	1 2.2
タイプD専業主婦(夫)	20 35.1	23 40.4	27 47.4	7 12.3	10 17.5	1 1.8	1 1.8	-
タイプEパート×パート	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-
タイプF無業×無業	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-

問 25 あなたは、「子どもの権利条約」を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「言葉も内容も知っている」の割合が41.3%と最も高く、次いで「言葉だけは聞いたことがある」の割合が39.3%、「知らない」の割合が19.4%となっています。

回答者数 = 201

問 26 あなたは、以下のことについてどのように思いますか。それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

『④子どもまんなか社会の実現に向かっている』『⑤結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現に向かっている』で「そう思わない」の割合が高くなっています。一方、『①子ども権利の主体である』で「そう思う」の割合が高くなっています。

■ そう思わない ■ どちらとも言えない ■ そう思う □ 無回答

回答者数 = 201